

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 藤井 信
 新潟県山岳協会
 長岡市学校町3-11-7
 TEL 0258-32-4835

事務局 諏訪恵一
 長岡市高畑町610-10
 TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集
 委員会代表 横山征平
 岩船郡関川村下関1100-1
 T/F 0254-64-0469

親睦登山と理事会を開催 会場 岩船朝日村・猿田野営場／石黒山

去る十月二十・二十一日紅葉真っ盛りの岩船朝日村スパー林道沿いの猿田野営場と石黒山を会場に開催された。(主管総務委員会／委員長片桐一夫)

両日とも爽やかな快晴に恵まれ、二日目の石黒山登山は、山頂まで続く樺の原生林は紅葉真っ盛りで、登山者まで染まるほどの彩りであった。

●石黒山(九六七メートル)

総務委員

参加者より感嘆の声が上がった。

丸山 祐一郎
 ブナを中心とした広葉樹の原生林に覆われた山並みはどこまでも広がる奥三面は何度訪れても感動を覚えます。

石黒山の登山口近くにある猿田野営場が今夜の宿泊場所。県山協の理事会後「豊かな山菜」という題目で小学校の赤羽正春教頭先生の山菜についての興味深く、ユーモラスなお話は大変聞き応えがありました。

親睦登山開催の十月二十日に開通したばかりの車道の脇にあるメモリアルパークが集合場所。旧奥三面集落は直ぐ真下の朝日湖の底に沈んでいる。

引き続き遭難対策委員会の楡井利幸副委員長より長野県山岳協会の富士山での遭難事故と昨年夏の映彩山岳会での遭難事故の報告があります。登山には遭難の危険があります。他人事ではなく登山者一人一人が真摯に安全登山に取り組んでもらいたいと感じました。

今回の参加者は約五十名で、朝日山岳会の遠山実さんの案内で車で移動しながら周辺を探索する。先日の山行で朝日連峰の稜線より十二時間を費やして三面登山口へ下山してきたと言う遠山さんのお話に

夜宴会は美味しいキノコ

汁や塩焼きイワナに、つついとお酒の量もはかどり、翌朝参加者の中には具合の悪そうなる人も見受けられました。



石黒山 避難小屋横で一服

見送りを受けて登山を開始する。親睦登山は普段は合合でしかお合い出来ない県内の有名な登山家と一緒に山行が出来る大きなメリットがあります。皆さんそれぞれに个性的で大変魅力のある人達です。

展望も悪い頂上でしたが、本当はもう少し前進して行く景色の良い地点があったそうです。

石黒山は標高が千メートルに満たない山ですが、登山口から頂上まで素晴らしいブナの原生林が続き、最近では登山者の数も多くなっているようです。

今回の親睦登山は好天に恵まれ、コース的にも良かったと思います。開催の準備をして頂いた朝日山岳会の皆様には大変有難うございました。ただ参加者一人一人の力量等もよく分からない各団体よりの集団登山の難しさも感じさせられた山行でもありました。

二時間半の登りで紅葉真っ盛りの山頂に到着。登山道の途中に三角点が置いてあり、

た。

国体二巡目

(平成21年新潟県会場)に向けて

後継者の育成につながる高校山岳部の現状

国体競技の山岳部門を担当する新潟県山岳協会では、選手の強化に努めているが競技成績の低迷に悩んでいる。

二巡目の大会年の中心となる現高校生に期待するところであるが、登山者は多いが、競技思考の登山者不足が成績不審に拍車をかけている。

次世代を担ってもらいたい高校山岳部の現状を新山協理事の増田重雄(高体連所属)さんからお聞きした。先生はあくまで私見と断っていたが。

●部活動の今後

高体連 増田 重雄
何を書こうかと迷っていたら「論座」(朝日新聞社刊)

10月号に「運動部が消えていく」(大野木龍太郎著)という記事が目についた。今中学や高校で運動部が廃部になっている。その背景は少子化もあるが、若者のスポーツ離れを嘆く声もある。単に「キツイのは嫌い」ということばかりではないようで、子供のスポーツ活動の現象を振り返り、問題点を明らかにしようとしている。

その問題点とは何か。学童期、思春期は「親丸抱えの

スポーツ活動」で「ただスポー

ツをさせるだけで、上手くなりさえすればいい」と親が子供の自立の機会を奪っている。中学は地域のスポーツクラブに所属する生徒が増えている。プロを目指すこともあるが、学校にやりたい種目の指導者がいないし、中学では少子化を見越して種目を決め、それ以外は認めないため「部活動を選べない、やりたいスポーツがない」という事態になる。

こんなスポーツ活動を経て高校に入ると新潟県もそうだが、部への加入率が減少傾向にあるという。しかし、昼休みに汗みどろになってスポーツに

興じている姿を見ると、スポー

ツが嫌いになったわけではないらしい。「目標を見失ってやる気を喪失する状態(燃えつき症候群)」それと中学でレギュラーでも高校では補欠、その挫折感を取り越えられないため、「自己を肯定的に見られない悲観的などころに追い込んでいく傾向が強い」結果のようだ。

では子供達はどうなスポーツをしたのか、その答えは「大学のスポーツ活動に表れている」という。それは旧体育系ではなく「同好会型の週数回の参加で縛りもなく、個人の事情を優先しやすい活動」

であり、大学で突然現れたものでなく、中学、高校でもあるという。

では今後の部活動はどうあるべきなのか。運動部活動の意義を十分認めつつも、「子供のニーズの多様化、スポーツに求めるものの変化」に直面した時、「部活動の社会体育への移行が現実味を帯びてきている」という。当然「社会教育・社会体育の質量とも

の充実を抜きに改革は進まない」。が、現実はずっと深刻ではないか。来年から学校も週休二日制が実施になる。その時の土日の部活動は社会体育でという構想は聞いたが、それに向けた取組は全くないのでは。私の勤務する高校でも文化部活動が増えていて、これは「同好会志向」の現れのように思える。クリアすべき課題が沢山あるが、部活動と社会体育が接近した時、山岳会はどう対応するのか。山

で遭難した場合、リーダーか引率者の責任が問われることはご存じと思う。そんなリスクを負うのはいやと逃げるか、若い会員予備軍と歓迎するか。山岳部顧問は常にそのリスクを負いながら、生徒を山に連

れて行っている。(おわり)

●理事会の概要

去る十月二十・二十一日朝日村猿田野営場で実施された新山協主催親睦登山の折り、理事会も開催された。
・出席者十八人。

一、遠藤理事長から前回の理事会以降の経過報告

①県山協の顧問として、真島一男氏(十一月二十二日死去)、馬場潤一氏の二人を依頼した。
②長年県山協事務局をされた新潟県学生書房の井口勇氏が亡くなり、県山協から弔意を表した。

③新事業として「ジュニア育成事業(少年・少女登山教室)」実施依頼の通知が入ったが、各山岳会でも類似の行事を実施していると聞いていることから、調査をおこなった上今後の対応を検討することとしているので、承知をお願いしたい。

④スポーツ指導員の「新潟県生涯学習情報提供システム(ラ・ラ・ネット)」への掲載については、従前は指導員取得者全員としていたが、今後は各専門委員長等のみとした。以下紙面の関係で次号に掲載予定。

自然保護を考える

第三十三回自然保護研究会開催

出湯と菱ヶ岳（北蒲笹神村）

去る十月十三、十四日の両日新潟県山岳協会（主管自然保護委員会、委員長七沢恭四郎）で、五頭山麓出湯と菱ヶ岳を会場に開催した。

自然保護の重要性が盛んに言われている割には参加者が三十五人と少なかった。参加者の新潟鉄工山の会伊藤 藤直会員に状況を報告してもらった。十三日午後三時から出湯の山友荘で座学を開催し、橋本副会長の挨拶に続き、七沢委員長から自然保護関連の取り組み経過について報告あり、引き続き県環境企画課自然保護係長の須藤様を講師に、

「新潟県の自然保護行政」をテーマにご指導を頂いた。この中で、自然保護関連の国・県の法、条例の解説と県における適用事例等を解説された。その内容は多岐にわたり、須藤様の自然保護に対する熱い思いと、法律や役所としての制約がある中で積極的な自然保護行政に取り組んでおられることがよく伝わってきた。最後に自然を守るのは行政の力のみでなく、県民一人ひとりの意識であると訴えられた。質疑応答では、自然保護活動への助成費や菱ヶ岳の林道工事等が話題になった。翌十四日五頭山系菱ヶ岳へ現地研修の登山を行った。

天候もしだいに回復し曇りから晴、山は紅葉も進みすでに中腹まで下り、山全体が黄褐色に色付き、実に鮮やかだった。座学で話題となった林道は、村杉から山頂に至る稜線の南側、大日ガ原方向から杉鼻の



蛇紋岩帯から成る尾瀬ヶ原からの至仏山

山と岩石

さわがに山岳会 小野 健

⑩ 蛇紋岩の山

蛇紋岩は、プレート活動による低温高圧下に、かんらん岩が水と反応して編成された暗緑色のアルカリ岩といわれています。

マグネシウムを含み、方解石や滑石を介在して、鉄鉱精錬や溶成隣肥の原料としても使用されています。樹脂状光沢があって風化し易く、岩屑原となつているところが多いのです。北海道の夕張岳や日高山地、早池峰山、至仏山、谷川岳、北アの雪倉岳、朝日岳などに分布しています。

いずれも、独特な地形と特異な植物があることで知られています。

尾瀬湿原の南北に対峙する至仏山と燧ヶ岳は、全く異質の山で、年代も1、7億年前の至仏山蛇紋岩脈帯と、1万年前に噴火した火山溶岩の燧ヶ岳、いずれも、尾瀬の象徴的存在になっています。

燧ヶ岳の新时期溶岩流は、日本最大の高層湿原を創り、至仏山などの古期蛇紋岩斜面は、アルカリ岩特有の植物を育み、オゼソウ、ナンブトラノオ、コバノツメクサ、ミヤマムラサキ、イヌナズナといった風衝帯乾性植物が多く見られます。

近くまですでに開削されていた。林道の上部末端は、登山道に数メートルの至近距離で平行している。現在、稜線の南側では樺の二次林がかなり育つてきており、美林が生育されつつある。それにもかかわらず、造林事業と称して林道工事でこれを深く傷付け、大規模に伐採しわざわざ他の樹木に置き換えようと言うのはいかがなものか、再考と少なくとも上部の現状回復を望みたい。下山時刻がまらちのため山頂で解散し、紅葉盛りの現地視察登山を終えた。



『国体カンパ』

御札

先般の第五十六回宮城国体参加選手団へのカンパのお願いに対して、次の方々からご協力をいただきました。大変ありがとうございます。

朝路の会、岩広山岳会、遠藤家之進正和、柿崎山岳会、柏崎山岳会、加藤明文・記代子、亀田山岳会、北村猛、草間雄一、後藤邦子、坂井厚、笹神村うすゆき山の会、さわがに山岳会、諏訪恵一、高田ハイキングクラブ、土田幸雄、十日町山路野会、中村光信、七沢恭四郎、新潟峯友会、橋本正己、藤井信、ミズキ山の会、見附山岳会、むささび会、室賀輝男、谷中隆明、山田智子、ゆきみ山の会、渡辺正之

(敬称略、五十音順)
(事務局 諏訪)

お知らせ

●新山協・新年会開催

・とき 一月十九日(土)
十五時開催

・ところ 上越市デュオ／セレッソ

上越市西城町三丁目

TEL0255-5120

高田駅より徒歩五分

・会費 七千円

・申込締切 一月十五日

・申込先 総務委員長 片桐一夫まで

T/F0258-4616448

●記事の訂正

十月号(一七六号)二頁一段、大会結果男子の部Aランク二位春日俊信選手の順位は一位の誤りでした。従って一位が二人になります。

●理事会の開催

・とき 十二月八日(土)
午前十一時～十三時三十分

・ところ 新潟市東地区総合庁舎内

東地区公民館

所在地 新潟蒲原七一一

TEL025-241-4111
・議題
①平成十三年度後半事業につ

いて

②賛助会員要項について
③二巡目国体の取組みについて

④韓国及び中国兄弟山岳会との交流事業について

⑤平成十四年度事業について
・出欠回答先 遠藤理事長
TEL025-362-5004

●平田大六氏村長に

新山協副会長(元理事長)等で活躍しておられる、平田さん(関川村山の会会長)は関川村長選に立候補し、去る十一月二十五日の投票の結果見事に当選し、村長に就任することとなりました。誠にめでたいことでありますが、今後は村発展の為に尽力されることから、登山に出かける機会が少なくなりますが、これからも新山協の発展にご協力をお願いしたいものです。

編集こうき

▲山野はしばしの紅葉も終り、すっかり冬景色になりました。この時期お天気を狙って山に入ると、秋までにぎわった山もしばしの休息でもして

いるかに、自分の足音だけが響く静かな山行を楽しめるものです。

▲今年のは山の実が不作で、猿はもとより、カモシカや熊の大型獣が里へ出没しており、農作物の被害に留まらず人的被害も出ております。

この現象にただ困ったものだと腕組みをしている方、いや、古来からのいわゆる先住民だから、むしろ共存、共生すべきと言われる方、人それぞれの考えで、適正な結論に達しないままクマは冬眠に入りました。

▲平野部にも降雪の季節となりました。毎年今ごろになると、気になるのが積雪量です。これを占う方法として、カマキリの巢の高さ、ミノムシの巢の高さ、カメムシ(ジロウ虫、私の関川村ではヘンクサ虫)の発生状況など、その地方によってさまざまない法があります。カメムシを例にしますと、今年は発生量が少なく豪雪にはならないのでは、と楽観的な見方をしておりますが、皆さんはいかがでしょうか。確実なことは虫達に聞かなければ分からないことではあります。(征)

登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



パーマーク
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FA0258(33)1164
●営業時間/AM10:30-PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>